

# 京都コースからの7がみ



2023年5月発行  
第84号

〒607-8218 京都市山科区勸修寺御所内町64-3  
深草こどもの家 勸修寺園舎  
TEL:075-641-8280 FAX:075-642-8588  
メールアドレス: mc.kyoto@theia.ocn.ne.jp

## モンテッソーリ社会現象の意味するもの

日本モンテッソーリ協会 理事長・会長 佐々木 信一郎

### モンテッソーリ教育ブーム

近年、大都市圏を中心に保護者の間で小さなモンテッソーリ教育ブームが起きていると推測されます。国立情報学研究所にCiNii Research(サイニー)という文献データベースがあります。サイト内の検索ツールに「モンテッソーリ教育」と入力します。そうすると二〇二一年から二二年までの二年間に出版されたモンテッソーリ関連書籍(主に親向け)が論文の間に表示されます。その数は、二十一冊です。これは、今までにない、大変に多い冊数です。売れる本を厳選して出版する出版社がこれだけの本を出すということは、特に妊産婦、子育て中の両親の関心が、モンテッソーリ教育に向いていることを意味していると言っても過言ではありません。

ご両親の関心、そして、沢山の出版物という現象を見て、これはモンテッソーリ教育が広められ、沢山の子ども達がよい方向に育てられていくよい兆候と思われました。

### 社会現象としての誤解の構造

書籍の内容を見ると、「好きなことをやらせる」「環境を整えると、一人でできる」「子どもに選択させる」など、一応モンテッソーリ教育的な文言が並んでいます。ただどうしても、その背後に、「〇〇が無理なくできる」「才能を伸ばす」などが見え隠れし、モンテッソーリ教育の名を借りた英才教育的な側面が多く見られました。

実際に母親がつくっている多数のプロダクトをみても、そこにあるのは、この書籍の内容と同様でした。しかし、モンテッソーリ教育は、ただ単に能力アップや才能を伸ばすために行われるような英才教育ではありません。モンテッソーリ教育によって、結果的に能力が高められたり、才能が伸ばされたりすることはありますが、それを、一義的なターゲットにして行うものではありません。

これらのことを敷衍(ふえん)して考えると、ブームを起こしている多くのご両親が子どもを才能を伸ばす、能力アップのために、沢

山の教材・教具を選択させて、夢中で取り組ませるといふ見方をし、その一方、彼らをターゲットにしている出版社がそれに拍車をかけているという構造が見え隠れしているようです。つまり、モンテッソーリ教育の誤解がこの両者の間で増幅されているのです。

### 誤解の原因

このブームの原因は、数年前に世間を騒がせたモンテッソーリマフィア現象にあるように思われます。世界のトップと言われる、ラリー・ページとセルゲイ・ブリン (Google 創業者)、ジェフ・ベゾス (Amazon 創業者)、マーク・ザッカーバーグ (Facebook 創業者) などが、モンテッソーリ教育で育ったということをもスコミが取り上げました。するとたちまち、それが世界中を闊歩し、まるでモンテッソーリ教育を受ければ、そのような人になるという幻想がまき散らされてしまったのです。それによって、日本のご両親も、モンテッソーリ教育で育てれば、我が子も世界のトップとは言わないまでも、限りなく認知能力が高まり、成功者になるという幻想を持つに至ったのだと推測することができます。但し、

彼らが受けたモンテッソーリ教育は、能力を伸ばすことを一義的なターゲットにするような教育ではありません。ここにも誤解があるように思われます。

### 形だけのモンテッソーリ教育

— 背後にある能力主義的価値観 —  
すでに見てきたとおり、ご両親や出版社は、「好きなことをさせる」「自己選択させる」「集中させる」など形としてはモンテッソーリ教育の大切さを主張しています。しかし前提には、すでに能力の高い子にしたいという価値観が潜んでいます。ですから、好きなことをさせるといっても結局それを通して、何か能力を身につけさせようとしているわけです。ここには、大人の望む子になるような心理的誘導が潜んでいることが多いのです。これは、英才教育と変わりがありません。

但し、この誤解は、ご両親、出版社の問題だけでは無いように推測されます。私たち、モンテッソーリ教育を実践しているものにもある可能性があるのです。

### 本当のモンテッソーリ教育

本当のモンテッソーリ教育では、子どもが学ぶプロセスをとっても重要なことと考

えています。モンテッソーリ博士は、「子どもの発見」の中で、「子どもが自発的に活動を始めるやいなやそれを押さえつけたり、私たちには、その結果がどうなるかわかりません。多分生命そのものを押さえつける事になります。(中略) 生命の開花を援助するためには、自発的な活動を絶対に中断させてはいけません。」と言っています。しかしながら、この「自発的な活動を認め、中断させない」ということは、私たち大人にとつてどんなに難しいことでしょうか。私たちは、自分の価値観の枠に子どもを嵌めてしまいがちです。そして、表面上は見えなくとも、心理的な誘導をしていることが多くあるのです。

これでは、環境を整え、自己選択させるという形が行われていても、モンテッソーリ教育とはいえないのです。結局、英才教育と変わらないことになります。

そうならないためには、子どもを一人の人格者として認め、自分を自分で創り出そうとする姿を見守り、待つことが必要です。大人の価値観からの心理的誘導は禁物です。

そして、子どもの人的環境として、一番大切なことは、私たち大人が自分の価値観を見直していくことなのです。

# 第四十八回・四十九回

## 卒業式

二〇二三年三月十一日(土)

コロナ禍中でのモンテッソーリ教師養成コース修了おめでとうございます。今年、第四十八回、四十九回、合同の卒業式が行われました。

過去二年間、休講やリモート講習等、色々な制限があり、精神的にも辛かったことでしょう。その中で、皆さんは、モンテッソーリ教育の精神をしっかりと学ばれ、コース委員長の岡山先生より、ディプロマが手渡されました。

今後ともすべての可能性に満ちた子どもの成長を楽しみながら見守り、手助けしていただきたいと思います。

渡辺 政美

### 第四十八回 卒業生



#### ◎九州地方

橋本美優(柚木/保) 中村璃梨花・安田侑夏(カトリック国分/幼) 野瀬綺花々(大濠聖母/幼) 内野朱(聖母/幼) 桃田美咲(若草/保) 山口夏美

#### ◎中国・四国地方

土井成海(尾道清心/幼) 山下真由・黒瀬加奈(めぐみ/保) 大空紗貴・林怜奈・西田綾乃(ロザリオ学園若葉/幼) 八塚紗緒理(西条聖マリア/幼) 松井ちなみ(ロザリオ学園八幡浜聖母/幼) 門屋佳菜(ロザリオ学園道後聖母/幼) 竹内春香(ロザリオ学園海の星/幼) 土居和華(ロザリオ学園天使/幼)

#### ◎近畿地方

櫻井莉子(枚岡カトリック/幼) 山本恵津子・中村路・田尻亜衣(復活/幼) 北口朝美(賢明学院/幼) 石田紗依子・森本夢樹(神戸海星女子学院マリア/幼) 松浦舞菜(滋賀カトリック学園聖母/幼) 石原みのり(大阪信愛女学院/幼) 久和彰美(聖母学院/幼) 長澤真由・水谷遙(精華聖マリア/幼) 山川幸枝(吹田ポッポ/保) 野田朱美(聖ヨゼフ/幼) 井之口いつか

#### ◎北陸・中部地方

大原恵(伊井/こ)

#### ◎関東地方

大竹優子・林真紀(松原/保) 熊切麻美(久留里カトリック/幼)

(以上三十七名)



◎九州地方

松永未来・深堀さやか(藤原幼児園) 伊佐川美香(うみのほし/幼) 今泉志保(柚木/保)

◎中国・四国地方

杉野未奈(西条認定/こ) 田中柚衣(ロザリオ学園海の星/幼) 菅希理沙(ロザリオ学園若葉/幼) 山崎ももか・河野いずみ(ロザリオ学園天使/幼) 三好薫(ロザリオ学園道後聖母/幼) 古池奈菜(丸亀聖母/幼) 坪内千歳

◎近畿地方

河村茉莉音(復活/幼) 笠島綾香・米田陽香(神戸海星女子学院マリア/幼) 友村陽香・菊川明日香(精華聖マリア/幼) 山尾里枝(シヌックスKK) 秋山遥(くりの木/保) 山中優夢(聖パウロ/こ) 納佳代(汐江ふたば/保) 石丸陽菜(深草こどもの家)

◎北陸・中部地方

近藤由佳子(モンテッソーリスクールカサデバンビーニ) 安田萌々子・村井里帆(上滝/保)

◎関東地方

鮫島亮子(モンテッソーリの子育て浦和教室)

(以上二十六名)



卒業生のことば

若葉幼稚園(愛媛)

第四十八回卒業生 大空 紗貴

私が京都コースに入学したのは、今から四年前。私自身は幼稚園に一年間勤務した後、入学しました。その一年間、子どもたちが「このお仕事をやってみたい」と私に言ってくれて、その思いに応える事ができず、とても歯がゆい思いをしてきました。そういった経験をやる度に早く学びたいという思いが強くなっていきました。

初めて京都へ学びに行った日、不安もありましたが、それ以上にやっと学べるという期待の方が大きかったのを今でも覚えています。京都まで足を運び、たくさんのお会い、学びがありました。養成コースに通うまでの私は、できないことがあり困っている人がいると、全て代わりにしてあげる事が優しさだと思っていました。また、違うことをしていたらすぐに訂正することが、子どもたちの為だと思っていました。養成コースでは、まず教具の本質を学んだうえで、子どもが自分で誤りに気付いて訂正できるということを教えていただきました。私たち教師が訂正するのではなく

く、子どもは自分で気付き、考える事ができると知った時、今まで良かれと思ってきた行動が、かえって子どもたちの気付きや、考えるという経験を奪っていたのだと思います、これからは、子どもたちの気付きを何よりも大切にしていこうと決めました。それからは、この子はどんなことに気付くのだろうか、この子は気付けるのかな、と子ども達の反応を見る事が楽しみとなり、自然と子ども達を観察するようになりました。観察していく中で、子どもたちは私が思っている以上にたくさん気付きます。驚きがありました。その度に、養成コースで学んだ「子どもが一人でできるように手伝いなさい」という言葉が私の心にすっと入ってきました。できないのが子どもだと思っていたことが、今では恥ずかしいです。一人でできるように手伝うという事は、とても難しいことですが、悩みながら経験を重ねていきたいと思えます。そして一人ひとりに合った見せ方や伝え方、関わり方を見つけていきたいです。

私たちはコロナの影響で一年間の休学やリモートでの授業を経験しました。大変だったこと、難しく心がくじけそうになつたこともありましたが、今こうして卒

業式を迎えることができたのは、丁寧に教えてくださった先生方や一緒に切磋琢磨しながら成長し合った仲間達の存在のおかげです。悩み、研究しながら一生懸命書いたアルバム。そこに書いていただいた先生からの温かいコメント。そのコメントに頑張ろうと何度も背中を押していたできました。四年間かけて京都コースで学ばせていただいた経験は、とてもありがたく、贅沢な事でした。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、京都コースで学んだことをしっかりと心に刻み、いつどんな時も、子ども側に立つて考える事のできる保育者でありたいと思います。本当にありがとうございます。

#### めぐみ保育園（山口）

第四十八回卒業生 黒瀬 加奈

私は今は保育士として子どもと関わっていますが、以前は全く異業種の職についていました。結婚を機に保育士の資格を取り、保育士として働き始めたと同時にこの京都コースへ入学しました。まだ子どもと接する経験に乏しく、モンテッソーリ教育についてもほとんど無知というような状態で入学をしました。ゼロからのスタートであつた私ですが、京都コースに在籍して

いたこの四年間を振り返ると教育法のみならず、子どもとは、ひいては人間とは、という壮大なテーマについて考え、学ぶ機会を頂いたと感じています。

モンテッソーリは子どもの自立や人格の形成について、子ども自身が自由に積極的に活動をしながらか秩序感を深めていくことの重要性を説いています。

私には一歳になつたばかりの息子がいるのですが、少し前から食事中に器の中身を自分の手で触ってかき混ぜたりぐにぐにゆと握ったり、それを床へ落としたりするような動作が見られるようになりました。最初は床やらソファやらに食べ物が飛び散り私の服も息子の服もべとべとになつてしまう程だったので、少し参つてしまつていたのですが、あまりにもその時の息子の表情が真剣で、止めることができませんでした。「ああ息子は今、自分が食べるものが一体どんなものなのか、どんな形でどんな温度でどんな感触なのか、一生懸命調べているんだな。そして、食べさせてもらうのではなく自分で食べたがつているんだ。」とその時感じました。そして手づかみで食べられるメニューを増やし、汁物などこちらが口へ運ばないといけないメニューについては、引き続き息子に思う

存分手による探究活動をしてもらうことにしました。初めの頃はありとあらゆるところへ食べ物飛ばしていたのですが、驚くことに、徐々に派手な動きはなくなり、今では器の中に手を入れてかき混ぜるなどはするのですが、床や壁などに食べ物飛ばすことが格段に少なくなりました。これは、息子に自由を与えたことで、息子の中で感覚や知性が磨かれ、また様々な発見がありそこから満足感が得られ、心の安定と共に食事の秩序感を確立していつているのではないだろうかと考えています。モンテッソーリの教えにより、息子の行動には大切な意味があると知り、そこに人間ができていく過程を見ることができました。

最後になりましたが、教具やモンテッソーリの精神を丁寧に、そして熱く教えて下さった先生方に感謝いたします。特にコロナ禍と妊娠出産で実習が今年度まで残ってしまったのですが、授乳中で離れられない我が子がいる身ではホテルの宿泊を伴う実習は難しいため根岸先生にご相談したところ、子どもを実家に預けて日帰りで実習ができる園と一緒に探して頂きました。またコースの先生方からも妊娠中や出産後には私の体や子どものことを気

遣い励まして頂き、その度にとっても温かい気持ちになりました。本当にありがとうございました。

先生方をはじめ、この場にいる、一緒に学んだ仲間の支えもあり、今日この日を迎えることができました。四月から育休が明け、保育の現場に復帰します。これからは、保育士として、そして一児の母としてこれまで京都コースで学んだことを精一杯生かしながら子どもの気持ちに添った関わりができるよう頑張りたいと思います。ありがとうございました。

#### モンテッソーリスクールカサデバンビーニ(石川)

##### 第四十九回卒業生 近藤 由佳子

私がモンテッソーリ教育に踏み込んだのは、今から三年前の事。それまでは一般の幼稚園で幼稚園教諭として働いておりました。私が保育をする中で最も大切にしたい事は、みんなちがってみんないいという事が叶う事です。しかし、一斉保育が基盤の日本の教育で育った私は、知らず知らずのうちに子どもを型にはめてしまったり、子ども同士を比べてしまったりと、頭で思い描く理想と現実の保育との矛盾に頭を悩ませていました。保育者六年目の年に今のモンテッソーリ園への転職のお話をい

ただき、モンテッソーリ教育に興味を持ちました。モンテッソーリ教育についての知識が全くなかったので、少し本を読んでみたところ、共感できる言葉が沢山並べられていて、モンテッソーリ教育なら、みんなちがってみんないいという事が叶った保育ができるのではないか、例えばハンディがあったり、国籍が違ったりしても、共に存在を認め合う生活が、モンテッソーリ教育ならできるのではないか、もしそうならば、自分の目で見て確かめたい！そんな思いで転職を決め、同時に京都コースへの出願を決意しました。入学が決まり授業が始まると、先生方の言葉のひとつひとつが私にはとても興味深く、授業の初めから終わりまで一語一句逃すまいと授業を受け、毎月の授業が楽しみになりました。感染症流行のおかげでなかなか対面授業が叶いませんでした。ようやく一年の冬に京都の地で先生方のお話を直接聞くことができるとなると、毎回授業に出る度に漠然とした「安心感」を自分が感じているという事に気が付きました。この安心感は何なんだろう？と疑問でしたが、こどもの家での見学実習でその正体がわかりました。それは、深草こどもの家の園舎や、環境、先生方から感じる雰囲気、そしてなにより子

ども達の姿から伝わる「ありのままの自分を受け入れてもらっている」という安心感です。自分のやりたい事がのびのびとできて、それを保障されている生活は、ただそれだけで自分そのものを認められているような安心感があります。生活の中で子ども達が感じている安心感を、先生方の授業を通して私も感じていたのだとわかりました。初めは緊張して見学実習に行ったのに、毎回なぜだかホッと安心した気持ちで京都から帰る自分が可笑しく、同時にモンテッソーリ教育によって、自分の理想とする保育ができるのではないかという期待に溢れました。

どの講義もとても興味深く思いましたが、中でも印象に残っているのは、前之園先生の授業にあった「私ではなく子どもをよく見なさい」というモンテッソーリの言葉です。私たちは毎月の授業を受け、レポートを提出し、アルバムを書き終え、試験に合格しました。これは私たちの財産ですが、これで良いモンテッソーリ教師になつたということでは決してありません。これから、先生方から学んだモンテッソーリの教えを自分の中に落とし込み、そして目の前の子どもひとりひとりと真つすぐに向き合い、その子どもに向けてモンテッ

ソーリ教師としての働きができて始めて、モンテッソーリ教師としての自信が持てるような気がしています。その日が来るまで、ここにいる共に学んだ仲間の存在と、いつもありのままを受け入れてくださったコースの先生方の存在を励みに、子ども達と向き合っていきます。

最後になりましたが、このコロナ渦の中での授業は、一年の休講やリモート対応、実習の受け入れなど、大変なご苦労が沢山あったことと思います。また、園舎建て替えに伴い、ここ勸修寺園舎への引っ越しもあり、初めての試みが沢山あったのではないのでしょうか。そんな中でも授業を通し私たちに沢山の学びをくださった先生方へ感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

#### (鳥取)

第四十九回卒業生 坪内 千歳

入学してから四年がすぎました。コロナ禍の休校、リモートでの授業、感染対策をしながらの授業の再開と、学びを続けるために先生方にはご尽力していただき本当にありがとうございます。

私は休校の間、体の調子が思わしくなかったり、足の手術を受けたりと、思うよ

うに動けない状態が何か月か続きました。そんな時に、自宅で二回目の一年の授業をリモートで受けられたのは、ありがたかったです。おかげで、今回の卒業にこぎつけることが出来ました。

一年生の時は、授業を受けたノートを見ても、グループで練習しても理解できない、わからないことが数多くありました。しかし、二回目の授業は、返された付箋付きの感覚のアルバムを見ながら受けると、わからなかったことが良くわかるようになりました。わかると嬉しくて、アルバムを書き直しました。その後も、授業の後には、各教科のアルバムも書き進めました。二年生に進級できた嬉しさも束の間、授業のノートの整理と、ほぼ毎日の提出物に書くことは続きます。みんなが頑張っている、私も！と、自分を励ましながら書きました。返されたアルバムの先生からのメッセージにも、励まされました。

子どもが、手と身体を使って学ぶように、大人も、手と体を使って学ぶことを、書くこと、教具の練習を通して実感しました。私が、モンテッソーリに興味を持つきっかけになったのは、次男が自閉症で、療育の時に、相良敦子先生の「ママひとりでするのを手伝ってね」の本を紹介されたこと

です。当時、自立のために、スケジュール・手順書を生活に取り入れることを教わっていました。さらに、モンテッソーリから、色々学びたいと思うようになりました。

しかし、子どもが学校に通っている間は、家をあけることが難しかったり、子どもが成長する頃には親の介護があったり、今にいたるまでに二十年かかりました。京都で学べたことは、私にとって大きな褒美となりました。

最後に、先生方に質問したり、尋ねることとは、躊躇する人もいます。私も最初はそうでした。少し勇気を出して尋ねてみると、先生方はすぐに対応して下さい、丁寧に教えて下さいました。私は、わからなかったことがわかるようになると嬉しく、出来るようになる練習が楽しくなりました。子ども達も教わるとこんな風に感じているのだろうか、と想像し、私も子どもに対して先生方のようになりたいと思いました。又、子どもを知り、子どもから学ぶためにも、観察する力が付くように努力を続けたいと思います。

先生方にはたくさんの方を教えてください、だき、見学実習、参加実習では各園でお世話になりました。本当にありがとうございました。



## 深草こどもの家学校法人化応援企画！ #fukakusaouen

### 「今、子どもに一番大切なこと」

～乳幼児期から児童期までを4人のモンテッソーリ教師が語る～

【オンラインzoomイベント】

日時：6月4日（日）9時～12時（見逃し配信あり）

費用：3,000円

（講演各45分）

- ・田中 昌子 エンジェルズハウス研究所（AHL）所長  
「誕生とともに始まるモンテッソーリ教育  
～かけがえのない日々の幸せな過ごし方～」
- ・深草こどもの家（園長 根岸美奈子・保育主任 長谷川美枝子）  
「未来をつくる幼き人格者たち ～こどもの育つ環境～」
- ・あべ ようこ モンテッソーリファーム代表  
「モンテッソーリエレメンタリーガイドになるということ  
～小学生との学びの時間～」

\*このイベントの収益は学校法人化のための園舎建築実現のために使われます。

この度、田中昌子さん、あべようこさんにお力をお借りし、学校法人化のためのイベントを開催させていただきます。深草こどもの家園長根岸、主任長谷川で、3～6歳の子どもたちがどのように園生活を送っているか、お話をさせていただきます！ぜひご参加ください！！



詳細はコチラから



新年度を迎え、新しい子どもたちと充実した日々をお過ごしのことと存じます。三月には、三年ぶりに行われた卒業式に参列させて頂きました。四十八期、四十九期の卒業生の

皆さまには、わかば会入会の手続きをしてくださり、新しい仲間が増え、嬉しい日となりました。この方々はコロナ禍で学びを続けてこられた方々です。色々な困難な中、卒業の日を迎え、岡山先生からディプロマを頂かれる姿も、喜びで満ちあふれておられました。卒業生の一人ひとりが、コースの先生方と温かい握手を交わされている姿に、胸がいっぱいになりました。

心よりお祝い申し上げます。これからは、子どもたちのために共に学び、働く仲間として、よろしくお願いいたします。

今年、コースの創立五十周年を迎える年となりました。わかば会としても夏期講習会のお手伝いや、祝賀会の計画をいたしております。コースの先生方にお目にかかれること、久しぶりに皆で学ぶことが出来ることに感謝いたします。わかば会の皆さま

にも、夏にお目にかかれるのを楽しみにいたしております。祝賀会も素敵な京都らしい場所をご用意しております。皆さまのご参加をお待ちしています。夏期講習会で会費の徴収を行います。ご参加されない方は下記へ振り込みをお願いいたします  
わかば会 会長

滋賀カトリック学園 聖母幼稚園  
園長 井上 美幸

2023年度の会費の納入のご協力をお願いいたします。

#### 【会費納入について】

##### ◎振込先

02 東京 00150-9-82053  
京都モンテッソーリ教師養成コースわかば会

##### ◎年会費

1,500円  
※長期滞納の方は再入会金 1,000円と  
2023年、2024年の2年分 3,000円  
計4,000円をご送金下さい。

##### ◎問い合わせ先

わかば会 井上美幸 (聖母幼稚園)  
〒520-0802 滋賀県大津市馬場2丁目6-62  
TEL (077)523-0480 / FAX (077)500-7749  
Eメール: seibo-nike@dune.ocn.ne.jp



## 日本モンテッソーリ協会(学会)第55回全国大会のお知らせ

### 「子どもたちに生きる希望を」

～人類の課題に立ち向かう人々の素晴らしさを、可能性あふれる子どもたちに引き継ごう～

日 時:2023年8月3日(木)～5日(土) / 会 場:ロワジールホテル豊橋(愛知県豊橋市)

基調講演:堀尾輝久(東京大学名誉教授)

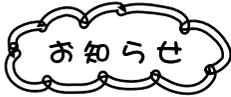
「人類と地球の危機 平和・人権・共生の世界を！」

―日本国憲法前文・9条の理念を「地球平和憲章」へ！―

その他、特別講演I,II、基礎講座、応用講座I,II、市民講座、研究発表、シンポジウム、ワークショップがあります。詳細は日本モンテッソーリ協会(学会)ホームページをご覧ください。



詳細はコチラから



2023年 モンテッソーリ教育講習会  
 京都モンテッソーリ教師養成コース創立 50周年記念

**自由をこどもに・・・**  
 「平和を築く子どもたちと共に」

日 時：2023年7月29日（土）30日（日）／会 場：kokoka 京都市国際交流会館

7月29日（土）全体会 13:00～17:00 受付開始 12:30		
時間	内容	講師 及び 発表者(敬称略)
13:00～	オリエンテーション	
13:10～14:40	講演 「いのちへの信頼」	高橋和也 学校法人自由学園学園長
14:40～15:10	リフレッシュコンサート	塩見裕子 (バイオリン)
15:25～16:50	京都コース50年の歩みと、 附属園「深草こどもの家」	板東光子、岡山真理子 コース卒業生、根岸美奈子
17:00～17:30	わかば会（京都コース卒業生の会）総会	

◎ 50周年記念祝賀会 7月29日（土）18時～20時 於：南禅寺 八千代（国際交流会館前）

7月30日（日）分科会 9:45～16:00 受付開始 9:30～			
時間	A	B	C
9:30 開場 9:45～12:15	ワークショップ 子どもの育ちを助ける 言語教育  「自分の言葉で表現できる子に」 ～話し言葉から書き言葉へ～ 講師：根岸美奈子／海道洋子	ワークショップ 子どもの育ちを助ける 感覚教育  「『混沌』から『知性』への橋渡し」 ～一人ひとりの歩みに 寄り添って～ 講師：井俣直子	卒園生への取り組み 岡山真理子  「卒園生のおもいに応えて」 峡南幼稚園／徳田諭  「卒園生（小学1～3年生）を 支援する活動の紹介」 深草こどもの家／長谷川美枝子
昼休み 12:15～13:15			
時間	D	E	F
13:15 開場 13:30～16:00	ワークショップ 子どもの育ちを助ける 生活教育  「環境とうまく関わりたい」 ～思いに寄り添って～ 講師：黒瀬能子	ワークショップ 子どもの育ちを助ける 数教育  「大きい数へのあこがれを大切に」 ～具体物から抽象への世界～ 講師：渡辺政美	実践報告 司会：板東光子  0、1、2 歳児： あさひ保育所（福井） 伊井こども園（福井）  3、4、5 歳児： 亀田平和の園保育園（新潟） 愛和聖母幼稚園（愛媛）

\*各会とも、定員を超えましたら、それ以降のお申込みについては、選択の変更をお願いする場合がございます。ご了承ください。  
 \*同封の申込書をご覧の上、お申し込みください。